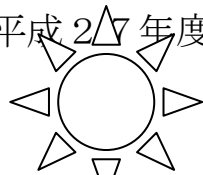


2015年6月 No 27

平成27年度「希望」通常総会開催 新たな活動計画を決める



理事・監事は全員留任 理事長に西 公一さん

希望の平成27年度通常総会が、5月23日（土）10時からわろうべの里で開催されました。47人の会員中35名（委任状を含む）が出席、佐渡斉市長さん、石山健作市議会議長さん、原多喜夫社会福祉協議会会長さんら大勢の来賓もお出でくださって祝辞を戴きました。総会では議長に賀川知彦さん、書記に戸田由紀子さんらを選出して議事が行われました。

初めに平成26年度事業報告、活動計算書、貸借対照表、財産目録、さらに監査報告が行われ、出席会員からは特に意見はなく、承認されました。

また、平成27年度事業計画、活動予算についても理事会の提案通り満場一致で可決されました。次に任期満了に伴う、理事・監事の選出は満場異議なく前期の方々が続いて留任となりました。なお、総会終了後の理事会で理事長に、西公一さん、副理事長に戸田由紀子さん小林征司さんが選出されました。



新たな決意で。

理事長 西公一

前期に続いて理事長を務めることになりました。改めて決意の一端を述べさせて戴き、会員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

昨年、障害者権利条約の批准が行われ、差別解消法も成立しました。さらに平成30年度から、障害者雇用促進法で精神障害者の雇用が義務化され、精神障害者を取り巻く環境は大きく替りつつあります。しかし、いまだに残るJR運賃割引などに見られる障害種別間格差や根強い偏見差別、長期入院の問題等々私たちが当事者と一緒に声を上げて行かなければならない課題は山積しております。

15年目に成ろうとしているどんぐり工房の運営は、皆様のご努力で苦しい局面はありながらも地域内唯一の精神障害者の地域支援の場として確立されつつあります。しかし、小成に安んじることなく、法人設立の精神に立ち返って、障害者にとってより良い地域創りを目指して、今後も奮闘したいと考えます。ご支援を宜しくお願い致します。

しごと受注協議会を提案



＝優先調達推進法の効率的運用目指す＝

市内の障がい者事業所が連携して、「しごと受注協議会」を結成することを、「希望」が呼び掛けています。

市をはじめ民間からの仕事の受注をこの協議会が一括して行うことで、優先調達推進法に基づく障がい者への発注が円滑に進むことを目的にしています。

すでに参画を表明している団体・事業所もあり、さらに拡大を目指して呼びかけを行っています。

なお、この事業は「コラボ四街道」（市民提案制度）に応募して採用されたものです。

総会で選出された理事・監事の皆さんと職員

理事長	西公一	監事	猿橋芳生
副理事長	戸田由紀子		渡辺智昭
	小林征司	—職員—	
理事	賀川知彦	* どんぐり工房施設長	
	田中英子		丸山和久
	中尾千恵子	同職員	荒谷久美子
	畑山静江	同	清水真奈美
	丸山和久	* 法人事務局長	
	渡邊皓寛		大淵義明

とも詩集から

「ビートルズ」

幼いころ

父のレコードを聴いて

好きになった

今も聞く

ビートルズは永遠不滅

初期の歌は明るくウキウキ

後期の歌は深く味わい

ほほづえをつきながら

ともに口ずさむの

事務局からお願い

会費納入の時期になりました。

未納の方は、恐縮ですがお送り

しましたゆうちょ銀行の振込み

用紙でお早目に納付して下さい

～親亡き後の心配事って何？～

ホープ会報6月号より転載

障害を持った我が子を抱える家族は、親亡き後社会の中で安心して暮らしていけるのだろうか
と不安に思っています。現在は我が子のために家族がいろいろとやっけてあげているわけですが
(お薬のこと、食事や部屋の片づけなど生活一般、お金の管理、人との関係、行政や施設利用など)
先が見えないため悩みは尽きません。そこで、27年度の総会ではどんな事が心配なのか、
集まった皆さんに具体的な事柄を付箋に書いてもらい模造紙に貼りだし、それらを基に話し合い、
まとめてグループごとに発表してもらいました。初めての試みに最初は戸惑いも見られましたが
漠然とした心配事が、書き出し話し合う事で心の整理やこれからやっていくべき事柄など、
方向性を見出すことが出来たのではないかと思います

(ホープの皆さんも総会で熱心な話し合いをしました。その様子が会報に掲載されました。)